

**新しい収穫・調製作業の実証でトウモロコシの復権を目指す！**

家畜の飼料用トウモロコシは自給飼料の中心的作物ですが、収穫から仕上げまでの調製作業が重労働であることから作付が敬遠されてきました。これを解決する技術として、専用の機械を用いてトウモロコシを収穫と同時に細断、仕上げにラップで巻き上げる作業を紹介しました。この実証を通じて、畜産農家等にその実感をつかんでもらい、トウモロコシ利用拡大への技術支援に努めます。



細断型ロールバレー等による収穫調整作業  
(京丹後市)



ロール実物を展示し説明

畜産センター